

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)	良くなる	商店街（代表者）	・大河ドラマ館は年間入場者目標を50万人に設定していたが、6月後半で40万人を突破し、過去の記録を塗り替える勢いである。
		コンビニ（経営者）	・夏の暑さに期待している。従来のパターンからいって、必ず伸びるであろうと期待を込めている。
		コンビニ（経営者）	・今後夏に向かって、地域でのイベント等により更に来客数が増え、販売量も増加する。
		コンビニ（経営者）	・ソフトドリンク、アイスクリームの販売量増加が見込めるので、景気が良くなる。
		スナック（経営者）	・このまま良くなることを期待している。徐々にではあるが、着実に改善してきているので大丈夫だろう。
		観光型旅館（経営者）	・熊本地震報道が減ったことにより、旅行需要の回復が見込まれる。前年は夏にふるさと旅行券の発売がなく、周りの県に客を取られていた分の需要が戻ってくる。
		都市型ホテル（副支配人）	・7～8月はスポーツ団体を中心に2食付の予約が好調である。夏休み期間に入るので、ファミリー客を中心に個人旅行予約を積極的に伸ばしていきたい。
	やや良くなる	衣料品専門店（統括）	・梅雨明け間近だが、これから七夕、花火、納涼祭などいろいろなお祭りがある。それにかけて客が買物に動いてくれれば、停滞気味の景気も上向してくると期待している。
		家電量販店（店長）	・天候次第ではエアコンや冷蔵庫に期待が持てる。またリオデジャネイロオリンピックによる映像関連商品が伸びれば、全体として2けたの伸びが期待できる。
		一般レストラン（経営者）	・県外客の動きも良く、客単価も悪くないが、仕入原価が多少気になるところである。
		観光型ホテル（経営者）	・8月は1年の間でトップシーズンであるため、やや良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会等の受注件数は前年と比べて若干減少傾向だが、高単価ならびに大型宴会案件の引き合いがある。
		旅行代理店（営業担当）	・旅行業にとって夏季繁忙期を迎えるため、販売量の増加が期待できる。
		美容室（経営者）	・これから夏に向かい気温が上がるにつれ、長い髪が敬遠され短くする人が増えてくる。客単価は上がらないが来客数は増加する。
	変わらない	商店街（代表者）	・良くなってもらいたいと常に願っているが、この先に購買意欲をそそるような物は何も見えてきていない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・参議院選挙や社会情勢の変化が落ち着くまでは、回復の見込みはない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・猛暑予想が当たったとしても季節商材、猛暑に絡む商品の動きをつかむことは難しい。必要であれば購入する消費者の購買意欲は、生活に余裕が出ない限り望めない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・地方では景気の良さがなかなか感じられず、特に消費がこれから伸びるとは思えない。
		百貨店（営業担当）	・夏物衣料品のセールが次月より本格化するが、今までの流れを勘案すると、あまり期待できない。お中元商戦も下火なことから、今後2～3か月も変わらない。
		百貨店（店長）	・来客数は変わらない。
		スーパー（商品部担当）	・客単価、買上点数などから、客の購買意欲に大きな変化はない。
		スーパー（副店長）	・世界情勢は不安定だが、地方経済にそれほど影響があるとは思えない。消費税増税が再延期されたことにより、しばらくは現状が続くのではないかと心配になる。
		コンビニ（経営者）	・客の財布のひもは固く、なかなか客単価が上がらないため、今と変わらない。
		コンビニ（経営者）	・5月に駐車場を10台分拡張したので、夏に向けて売上増を期待していたが、英国のEU離脱問題に伴う株価下落、円高に関する盛んなテレビ報道が、客の不安をますますき立てているのではないかと心配になる。
		コンビニ（店長）	・なんとか現状が続いてくれれば良い。
		コンビニ（店長）	・近所に大型店ができたが、思ったより影響が少なかった。今後もそれほど悪くなることはないと思うし、良くなる条件もあまりないので、特別変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・話題性のある新型車の予定もなく、参議院選挙後の景気対策に期待したい。

乗用車販売店（販売担当）	・車の販売と同時に車検や整備もやっている。以前は、車が売れないときでも車検、点検、サービスの売上があったが、ここ2～3か月はそちらも落ちている。オイルサービスや景品進呈などいろいろな施策をやっているが、全然手ごたえがない状況がずっと続いているので、将来的にも今と変わらない。	
乗用車販売店（販売担当）	・4～5月に6月ごろまでの車検を先食いしたためか、6月に入り、車検や板金塗装関係の入庫が極端に減っている。販売は、中古車がそこそこ出ているものの、新車の輸入車については全く話が出ない。今後良くなる要素も見つからないので、このまま悪い状態が続く。	
乗用車販売店（管理担当）	・夏のボーナスへの期待はあるが、節約志向が強く、消費低迷が続く。	
自動車備品販売店（経営者）	・身の回りで人口が減っていると感じる。工場誘致や行政施設の建設予定もあまりない。人もあまり動かず、身の回りに活気がない。何か決定的な施策などがあると良い。消費税増税の再延期は客ともども非常にほっとしている。まずは我々が頑張らなくてはならないが、インパクトのある子育て支援などがあると良い。	
一般レストラン（経営者）	・国内外の動きを見ても、消費者の気持ちが上昇するような要因は全く見当たらない。ましてや2～3か月先では変わりようがない。	
都市型ホテル（スタッフ）	・これから先景気が良くなるとは思えない。地方の中小企業は四苦八苦しつつも、模索しながら一生懸命やっている。	
都市型ホテル（営業担当）	・現在は少し悪い状況だが、一時的なものであり、今よりさらに悪くなるとはあまり考えられない。客の仕事の動向によって変動することもあると思うが、ベースとなる客の需要は変わらないので、現在と変わらない。	
タクシー運転手	・今が悪いので、これ以上悪くなると仕事にならなくなる。	
タクシー運転手	・県内中心市内、繁華街の同業者はだいぶ苦勞しているようだが、我々山間部のタクシー業者はほぼ前年比100%を達成できそうである。	
通信会社（営業担当）	・世界情勢の動きが読めないため、停滞が続く。	
観光名所（職員）	・普段は春で一旦落ち着くインバウンド客が今年は減らない。その分で国内観光客の減少までカバーできるかはつかめない。	
ゴルフ場（支配人）	・梅雨明けとなり、夏の涼しさを売るコースなので、予約は以前より順調に推移している。	
その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	・今年は地元古社の式年祭があるため動きが悪い。	
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・選挙を控え、依然として身の回り品の買い回りが多く、客の消費傾向は、さほど変わらない。	
その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・国内外共に情勢は不安定で、先行きも不透明である。	
設計事務所（所長）	・3か月ほど予算を達成しており良い方向に向かってはいるが、夏場は集客が難しいので、現状維持が精一杯である。	
住宅販売会社（従業員）	・同じ地域の同業者の会議でも、来客数の減少を懸念する声がある。	
住宅販売会社（経営者）	・デフレが止まったような感じもするが、現実はいい物件しか動きがなく、そのうえ交渉で必ず値引きをさせられてしまうため、まだ景気が上向きとはいえない。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・地方都市は大手企業がなくなり下請企業が多い。工場関係者によると、大手は景気が良いが、末端の下請企業は以前よりも景気が悪いようで、小売業にもそれが響いている。
一般小売店〔衣料〕（経営者）	・7月は参議院選挙があるので、あまり良くならない。	
一般小売店〔乳業〕（経営者）	・景気後退の要因はあるが、回復の要因はない。	
百貨店（販売促進担当）	・英国のEU離脱問題など、経済の先行き不透明感が消費マインドを大きく低下させる。円高、株安の長期化が予想され、消費低迷が継続する。	
百貨店（副店長）	・英国のEU離脱問題、国内政治や経済の先行き不安、天災や凶悪犯罪の発生など、消費マインドを低下させるような話題しかない。	
スーパー（総務担当）	・前年よりも数値が下がっているうえ、社会不安をあおる英国のEU離脱問題が客の心理を刺激し、価格に敏感になりそうである。	
スーパー（統括）	・英国のEU離脱問題に伴う急激な株安、円高で、先行きの不安がより鮮明になったことで、消費マインドの低迷による来客数、買上点数の減少は避けられない。	

	乗用車販売店（経営者）	・お盆の時期は受注が落ち込む。
	乗用車販売店（経営者）	・自動車産業の盛んな当地方ではあるが、メーカーや一次下請では巨額の設備投資や内部留保を執行していても、その下まではお金が降りてこない。トリクルダウン現象は起きておらず、先行きが心配である。
	乗用車販売店（営業担当）	・小規模販売修理業者がこの先も営業を継続するには、さらに規模を小さくするか、業種転換を考えなければならない時が迫っているような気がする。
	住関連専門店（経営者）	・国民投票による英国のEU離脱問題で、世界的に景気は悪くなると報道されており、消費マインドが冷え込んでいる。
	住関連専門店（店長）	・円高、株安に流れている。長期的には、東京オリンピックに向けて上昇すると思うが、向こう1～2年は踊り場になる。
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・例年この時期は販売量が減少する。前年比で毎月減少しており、今後も続く見込みである。
	一般レストラン（経営者）	・株価の下落幅や英国のEU離脱問題など、世界情勢がいろいろ変化している。日本もその影響を受けるため、今後の経済状況も不安定となり、あまり良くなる方向には行かない。
	一般レストラン（経営者）	・消費者は消費税増税の再延期による社会保障改善の不透明化、英国のEU離脱問題による世界経済の先行き不透明化などにより、とりあえず支出を抑えようとするのではないかと。
	スナック（経営者）	・選挙がある月は毎回売上等が落ちるので、悪くなる。
	旅行代理店（従業員）	・英国のEU離脱問題が気になる。
	旅行代理店（副支店長）	・海外旅行だけでなく、国内でも地震や天候不安などが懸念される。為替が不安定で、今後の先行きに不安が残るためか、企業は社内旅行や研修等を控えているようであり、個人消費も見通しが暗い。秋の行楽シーズンでは、インバウンドが強すぎて日本人旅行客の予約等に大きく影響を及ぼすため、国内需要が冷え込む懸念がある。
	タクシー（経営者）	・全体的に動きが悪いので、この先も悪くなる。
	タクシー（役員）	・一部の製造業やそれに関するところだけが良く、今後の不安から安定が望めない。
	通信会社（経営者）	・地方では人口減少が進んでいるので、先行き不安は払しょくできない。
	通信会社（経営者）	・景気の先行きが見通せないためか、客からの問い合わせは少なく、関心も薄いため、厳しい。
	テーマパーク（職員）	・参議院選や都知事選が行われることや、円高の影響から、観光客の動きが鈍くなる。
	遊園地（職員）	・英国のEU離脱問題の影響を受け、インバウンド観光客の流れが変わりそうである。
	ゴルフ場（総務部長）	・7～8月の入場者数は、予約状況から見て厳しい状況である。
	競輪場（職員）	・全国発売の特別競輪の売上が最低記録を更新している。
	美容室（経営者）	・このところ客の話に都知事問題を含む政治の話が多く出ている。決して景気は良くないのに、大企業と中小企業を一緒にして判断されたくない等の声もある。地方の景気はすっかり冷え込んでおり、借金がなければ良しとしたいとの判断をする人もいる。景気の先行きが不透明な間は設備投資など考えられない。現状維持でやっとならざるを得ない。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・英国のEU離脱問題がどのように日本経済に影響するか、先行きが不安である。
	設計事務所（経営者）	・新しい仕事依頼はほとんどなく、社員数に見合う仕事量がない。
	住宅販売会社（経営者）	・英国のEU離脱問題に伴い、不安定な状態が続くことが見込まれ、住宅購入の決断が鈍る要因になる。
悪くなる	商店街（代表者）	・夏の気温が高く推移すると見られているので、消費動向に懸念がある。
	百貨店（店長）	・円高、株価下落、また外部環境も悪く、今まで売上が悪くても高額商品はある程度売れていたが、このところ高額商品も売れず、ムードは非常に悪い。
	スーパー（経営者）	・英国のEU離脱問題の影響により世界経済の先行き不透明感が増し、消費減退ダメージが大きくなる。
	衣料品専門店（販売担当）	・年金が出てボーナスが出てお客がさっぱり来ない。こちらからもセールやDM、電話作戦など、あらゆる手を尽くしているが、来店してもらえない。今までにないほど悪いので、夏場を乗り切るのは相当困難を要するというのが実感である。
	家電量販店（営業担当）	・オリンピック需要が全くなく、映像関連商材の動きはないが、エアコン等の季節商材の動きは良い。

		スナック（経営者）	・良くなる要素が全然見つからない。英国のEU離脱問題に端を発する米国大手金融機関の破たん以来の円高、株安は、日本にも大きな影響があるような気がする。ますます財布のひもが固くなるのではないかと。参議院選挙もあり、恐らくお盆過ぎまでは良くなる。
		旅行代理店（所長）	・政治不信に加えて、英国のEU離脱問題等による不安感から、消費が鈍化する。
		通信会社（経営者）	・良くなる兆しが見えない。
		通信会社（経営者）	・英国のEU離脱問題により世界経済は減速し、円高、株安は短期では収まらない。
		通信会社（店長）	・退職者の補充が追い付かず、求人のための経費支出がかさんでいる。
		設計事務所（所長）	・7月1日公告予定物件は一昨年仕込んだもので、ようやく内示が出たものである。これからが思いやられる。
企業 動向 関連 (北関東)	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車メーカーの北米への輸出が増加しているので、良くなる。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・当社の太陽光発電所の増設が大幅に進んでいる。
	やや良くなる	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、受注量から推測して、収益の改善が図られる。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・夏休みの出張イベントが増加する時期なので期待している。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・厳しい状況に変わりはない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・やっと微減傾向が止まったところで、英国のEU離脱問題により激震が走っている。この結果がどのような影響を与えるのか、いまだ情報は全く入っていないが、受注量が好転するとは考えにくい。
		一般機械器具製造業（経営者）	・新規案件が何件か立ち上がる予定であるが、従来の仕事を埋めるまでには至らない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新製品や新規の受注がないので状況としては厳しいが、受注話が出てきたので、水平飛行かあるいは少し上昇する可能性がある。
		電気機械器具製造業（経営者）	・なかなか安定した仕事が見つからず、不安定な状態が続く。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・良くない状況が続くなか、英国のEU離脱問題による景気悪化の増大が非常に心配される。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・競争相手、取引先の様子等も、良い会社、悪い会社、いたって普通の会社といろいろあるので、この調子でいくところの2～3か月先まではあまり変わらない。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのまま推移する。
		建設業（開発担当）	・今期の公共事業は前年比大幅減であるが、経済政策で公共事業を前倒して実施することが決定されたので、今後に期待したい。当社も売上高が前年比95%だが、今後何とか前年並みの売上を計上したい。
		輸送業（営業担当）	・暑い夏になるという天候予測もあり、エアコン、扇風機、パーベキュー、レジャー用品、園芸用品等の物量がある程度増加する見込みだが、英国のEU離脱問題の影響により景気減速も考えられるため、前年並みとの予測を立てている。
		広告代理店（営業担当）	・夏場は宣伝、広告が減る時期なので、例年のように停滞すると思うが、現時点の受注状況としては、秋まで横ばいで推移しそうだ。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・残業をすべて禁止する方針を決めた企業があると聞いている。
		経営コンサルタント	・英国のEU離脱問題、東アジア情勢など国際情勢の不安定さ、世界経済の不透明さが国内経済に反映されているようで、地域の動向から先を見通すことが難しい。企業の生産、販売活動及び個人消費など、用心しながらの進展となりそうである。
		司法書士	・地方は中央の景気の影響をすぐには受けないため、まだ少し続くと思うが、今中央で起きている混乱がいつどのような形で波及してくるのかは分からない。
	社会保険労務士	・派遣会社などで社会保険加入手続きが増加していたが、契約期間更新は厳しくなるかもしれない。	
	やや悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・円高の影響で多少は原料価格が下がってきたが、英国のEU離脱問題で国内景気が悪くなり、消費がますます冷え込んでくる。

		食料品製造業（営業統括）	・英国のEU離脱問題により、急激な円高、株の急落等で予想外の事態が生じたため、輸入ワインの増加が考えられ、国産ワインにも大きな影響が懸念される。
		建設業（総務担当）	・良くなる要素が考えられない。予算が他に持って行かれていくという情報もある。
		通信業（経営者）	・景気が良くなりそうな要素がない。
		金融業（調査担当）	・消費税増税は延期されたものの、消費マインドの改善は見られず、個人消費刺激など政府の景気対策はあまり期待できない。
		金融業（経営企画担当）	・英国のEU離脱問題の影響を受けて円高が進行しており、輸出関連業種などへの影響が懸念される。
		不動産業（経営者）	・円高にお金が回っておらず、消費が偏っているように見受けられる。
		不動産業（管理担当）	・来月から打ち切られる予定だった受託案件が、今後も継続することになったため、業務量の減少はなくなったが、契約見直しで金額を下げられたため、売上はやや減少する見込みである。
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらず毎月の資金繰りが大変である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先の板金部門の受注が芳しくなく、その部門の人員を外注発注の部品組み立てに充てるとの情報が入ってきているため、当社の受注への影響が考えられる。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・今月香港で行われた国際宝飾展へ日本からも多くの宝飾企業が出展したが、中国の景気後退の影響、またアメリカ、ヨーロッパの景気も今一つであることから販売不振の企業が目立っている。国内景気低迷の中、海外輸出が宝飾業界の売上を支えていたが、輸出不振で業界全体に陰りが見えてきている。
雇用 関連 (北関東)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（管理担当）	・暑くなり、コンビニの麺類製造派遣が増加する。
		職業安定所（職員）	・学卒の求人数が増加傾向にある。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・求人社数、求人者数共に増えているが、学生の希望する職種とは異なる。生産関係などの職種が増えていると感じるが、もう少し間接的な職種が増えれば、景気の上昇も実感できる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・ボーナス支給によって衣料品や生鮮食品等の購買力が増えていき、自動車やスマホ、ケータイ等も多少活気を取り戻すと思うが、製造業に関しては、在庫調整が行われる可能性もあり、生産の動きが鈍ってくる。円高にも左右される。
		人材派遣会社（経営者）	・このところ仕事が忙しいからと頼まれたり、断られることはあまりないが、残業などが減り、売上が減少している。
		人材派遣会社（社員）	・県内主要観光地の宿泊施設の取引先が多いが、稼働率を見ると、前年よりも若干落ちてきているところと伸びているところがあり、平均するとほぼ横ばい状態である。数か月前から前年度と同じような数字で推移しているので、特に何か大きな出来事でもない限りはこのままで変わらない。
		人材派遣会社（営業担当）	・選挙動向を見ても変わらない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・例年これから季節的に大型小売店、サービス業などが忙しくなるので、パート、アルバイトの募集が特に多くなる。
		職業安定所（職員）	・求人数は増加傾向を示しているが、円高や中国経済の影響など不安要素も多くあるため、今後も変わらない。
	民間職業紹介機関（経営者）	・求人をけん引する製造業において、輸向け製品あるいはその一部を担う部品等の企業が多い。英国のEU離脱問題を重く受け止め、かつての米国大手金融機関の破たんのように、徐々に受注が減り、やがて激減とならないか、大変心配している。採用を含めた投資には消極的な姿勢もあり、様子見となっている。	
	やや悪くなる	人材派遣会社（支社長）	・3か月更新後は7～9月までの契約となる為、工場閉鎖など突発の事象がない限り、引き合い等の受注ペースはお盆明けまでは鈍化する。
		職業安定所（職員）	・円高の転換期を迎えている。好調な飲食、サービス関連業においても1社当たりの求人数が減ってきている。近月においては人員整理、または事業縮小等も見え始めていることから、景気は少し減退していくのではないかと。求職者数も例年通り減少傾向を続けている。求人倍率は今月も1.48と高倍率を保っているが、求職者の減少も一つの要因である。
	悪くなる	-	-